

Ⅱ 目標及び計画

【学校の教育目標】

経験と、新しい技術の基礎を学び新しい時代を生きる人材を育む実践教育を目指します。

教育理念

- 経営感覚と確かな技術を持った人材の育成
- 酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成
- 社会人としての基礎力を備えた人材の育成

【学校の経営方針】

運営ビジョン

- ① 学生にとって魅力ある学校
 - ・質の高い酪農教育の実践
 - ・学生支援の充実
 - ・酪農に対する意欲の高い学生の確保
- ② 酪農関連業界にとって魅力ある学校
 - ・法人等が求める学生教育
 - ・社会人フィールド研修の充実
 - ・酪農家・法人経営者に対する研修の実施
- ③ 県民、国民、消費者にとって魅力ある学校
 - ・酪農に対する理解の熟成
- ④ 運営体制の強化
 - ・計画的な設備更新

【教育指導計画】

＜ 教育目的 ＞

実践教育による確かな技術と経営感覚に富む酪農の担い手の養成と、酪農を通じて地域社会への貢献ができる健全にして良識ある人材を育成する。

併せて、生命、食、環境を育む酪農の社会的意義や役割の普及啓発を通じて、酪農業の健全な発展に寄与することを目的とする。

＜ 教育目標 ＞

1. 酪農経営の知識と実践教育を通じた確かな技術により、酪農の担い手として自立できる人材を育成します。
2. 酪農の社会的意義と役割を自覚させ、農山村地域の維持・発展の中核となりうる人材を育成します。
3. 学校教育や集団生活を通じた協調性や高いコミュニケーション能力により、社会人として信頼される人材を育成します。